



日本学術会議主催
学術フォーラム

「いま問われる物理教育改革 —より効果的な理工学教育をめざして—」

日時 2019年9月27日(金)10:00 ~ 16:10

会場 日本学術会議講堂

わが国の理工学分野の人材育成は、近年益々その重要度を増し、質的にもさらなるレベルアップが求められてきています。一方海外では大学における理工学分野の教育の効果を検証し、科学的な視点からその改善を図る教育研究領域が発展しつつあり、物理教育研究は其中でも比較的早く始まり発展してきております。このフォーラムでは、我が国の物理教育に関わる各方面の方々を講師としてお迎えし、大学の理工学分野の教育の現状について問題提起をした上で、理工系人材の育成にとって基盤となる物理学の教育改革を考え、具体的な指針を得るための機会となることを目指しております。

午前の部 10:00 ~ 12:00 (司会 村田 隆紀(日本学術会議特任連携会員、京都教育大学名誉教授))

はじめに 川村 光(日本学術会議第三部会員、大阪大学理学研究科教授、日本物理学会前会長)

いま問われる物理教育改革

笹尾 真実子(日本学術会議連携会員、東北大学名誉教授)

大学の未来地図

五神 真(日本学術会議第三部会員、東京大学総長)

我が国の大学における理工系教育の充実について

伯井 美徳 (文部科学省 高等教育局長)

物理教育研究(PER)とは何か

新田 英雄(東京学芸大学教授)

午後前半の部 13:00 ~ 14:30 (司会 芝井 広(日本学術会議連携会員、大阪大学理学研究科教授))

新しい物理教育実践

植松 晴子(東京学芸大学准教授)

大規模調査から見てきた日本の基礎課程物理教育の課題

覧具 博義(日本学術会議特任連携会員、東京農工大学名誉教授)

SEI(Science Education Initiative)方式の事例紹介と日本への示唆

大森 不二雄(東北大学教授(大学教育支援センター長))

午後後半の部 14:40 ~ 16:10 (司会 笠 潤平(日本学術会議連携会員、香川大学教育学部教授))

理工系学部教育の組織的改革に向けた実践報告と課題(総合討論への問題提起)

鈴木 久男 (北海道大学理学研究院教授)

総合討論: 日本における物理教育改革のための課題と活動の推進

指定討論者 村田 隆紀(日本学術会議特任連携会員、京都教育大学名誉教授、日本物理教育学会会長)

岡村 定矩(日本学術会議連携会員、東京大学名誉教授、日本天文学会元会長)

まとめ 岡 眞(日本学術会議連携会員、日本原子力開発機構 原子力科学研究部門 先端基礎研究センター長)

アクセス: 日本学術会議(東京都港区六本木7-22-34)

東京メトロ千代田線「乃木坂駅」下車、5番出口(青山霊園方面)より徒歩1分

お申込み: 日本学術会議ウェブサイト(<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0003.html>)にて

2019年9月26日(木)17時までにお申込み下さい。

参加無料、定員250名、先着順

お問合せ先: 日本学術会議事務局 企画課学術フォーラム担当、電話: 03-3403-6295



主催: 日本学術会議

共催: 日本物理学会、日本物理教育学会、日本天文学会

後援: 応用物理学会(予定)、大学教育学会、日本工学教育協会